

No.91
2018
11/16



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



申10号

11月15日 提出!

2018政策フォーラム提言実現に向けた申し入れ

9月8日、国分寺労政会館において「2018政策フォーラム」を開催し「人にしか出来ない業務を通じた鉄道の安全レベル・サービスレベル向上に向けて」「技術継承・技能伝承が出来る人材育成、異常時に強い鉄道を目指して」の2つのテーマから4つの提言に基づいて討論を重ねてきました。参加者からは、営業職場の課題として、委託化により管理する駅が増加し異常時の対応が困難になっていること、無人化による弊害や地域との連携の必要性、事務職やきかく部門からはハンディを持った人の職場の確保の重要性、設備職場では、保線部門におけるメンテナンス体制の最適化施策により、現場感覚や保安体制確立への意識低下や職場の技術力が低下してしまうことの危惧など職場の問題点が多く出されました。

「変革2027」ではAI・IoTの活用が目指されていますが、私たちは人間尊重企業として「人にしか出来ないサービス」「地域と密着した鉄道」を創り出し、今まで以上に安全・サービスレベルの向上を行っていかなくてはなりません。技術継承・技能伝承が出来る人材育成、安全・健康・ゆとり・働きがいの持てる職場風土をつくり出すために、下記の通り申し入れを行いました。

1. 安全レベル・サービスレベル向上の観点から、折り返し駅、私鉄との乗換駅は本体で運営を行う駅とすること。また、無人駅においては安全・サービスレベルが低下していることから、係員を配置すること。
2. 営業制度やマルス操作などの駅の後方支援を行い技術継承・技能伝承の場として、知識・経験を持ったエルダー社員を地区センターに配置すること。
3. 各職場において、休憩が十分に取れるスペースを確保すること。
4. 事務職は社員のバックアップを行い安心して働ける環境を確保する職場の要であることから、全ての職場に事務職を配置すること。
5. 保線部門におけるメンテナンス体制の最適化において現場へ立ち入る機会が減少することが危惧されることから、現場感覚を養う為に実践的な環境を整えると同時に教育・訓練を充実させること。

安全崩壊・サービスレベル低下へ繋がる過度な効率化反対!
安全で働きがいのある職場風土を再構築しよう!!